

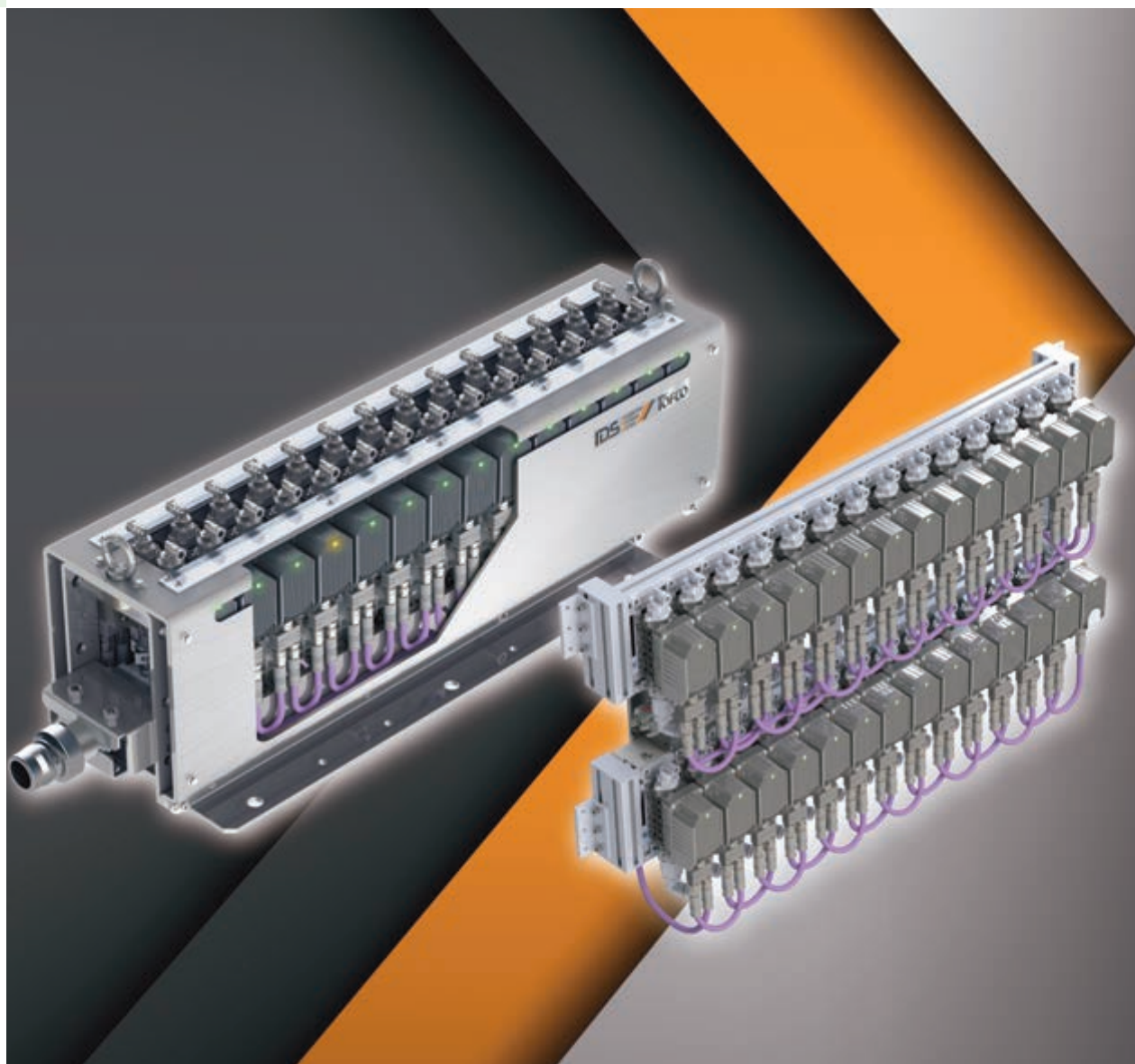
事業取組みの経緯

弊社は1974年に創立し、流量計制御機器の専門メーカーとして、産業界の様々なニーズに応じてきた。今後、売上の安定化並びに増加を図るためには、他業界への参入が急務であり最大の課題であった。自動車業界は、わが国の基幹産業で多様な技術分野に支えられる総合的産業であり、流量計の需要も多いことから、自動車産業への参入を図ることとした。

事業内容

当社が開発した冷却装置のIDS（集積フローコントロールユニット）は、大手自動車メーカーより高評価を得ているが、工場の過酷な環境下での基板内への漏水、ハンダ剥がれ、ノイズによる誤動作等の問題があった。そこで、IDSユニット（計測システム）の導入に加え、IoTを用いた監視・制御・分析及びロボット機能の付加により、製造環境の改善に取組んだ。

東フロンコーポレーション株式会社



IDS（集積フローコントロールユニット）の開発

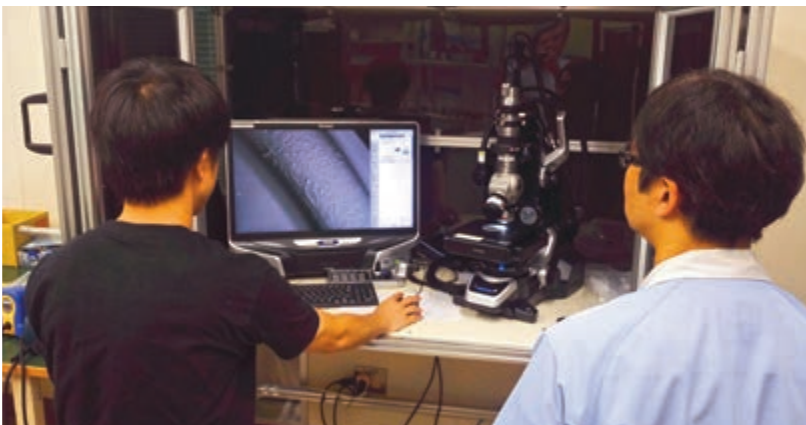
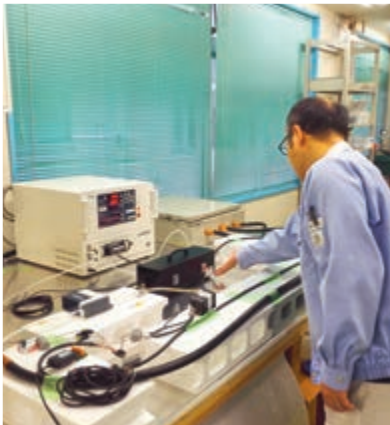
平成28年度補正 ものづくり技術

新規設備導入による、IDS（集積フローコントロールユニット）の開発加速化で自動車産業への参入

新商品のIDS（集積フローコントロールユニット）は、大手自動車メーカーより高評価を得ているが、まだまだクリアしなければならない問題が多い。新規導入予定の各装置は、早期に問題を解決し生産効率を大きく向上する事が可能となる。

事業成果・達成要因

新規設備導入により、問題点の評価、検証を簡易でより正確に行う事が可能になった。これまでの設備と比べ問題点の評価・検証時間が1/2~1/3まで短縮された。また、IDSユニット（計測システム）の導入により、手作業であった作業を自動で行う事が可能になり、併せて検査担当の全員が可視化・共有化もできるようになった。



(左上) EMC検証作業
(右上) 自動噴霧/計測作業
(下) 画像分析作業

今後の取組み

自動車産業へのIDSユニットのアプローチを強化する。昨今は自動車産業（ダイカスト）等の展示・商談会が国内外で盛んに行われており、昨年度の展示・商談会では多くの自動車関連企業から問い合わせがあった。弊社は、これらの展示・商談会を最大限に活用し、IDSユニットのPR等販促活動を強化していく。



令和ものづくり元年

未来創造 POINT!

IDSで 未来を切り開く

[専門家からのアドバイス]

鋳物機械の水冷用バルブ開閉は人手で行われているが、IDSユニットで自動遠隔制御が可能になり、労働環境改善や生産性向上に寄与する。一方、量産工場で求められる耐熱性・耐久性等は想定以上に厳しい仕様が要求されるので、あらゆる条件での設定・試験を繰返し、データの蓄積でIDSユニットの完成度を高める事が不可欠である。

企業 PR

1974年に創立し、流量計を中心に流量計制御機器及び環境機器等の設計、製造、販売により産業界のニーズに全力で応えてきました。従来、半導体産業が売上の殆どを占めていましたが、IDSユニットで自動車産業への参入を果たす事ができました。今後はIDSユニットを国内外問わず販売促進して参ります。



社屋外観

企業概要

事業者 東フロコーポレーション株式会社
代表者 代表取締役社長 田畑 隆一郎
設立年月日 昭和49年2月22日
所在地 等
〒899-5101 鹿児島県霧島市隼人町住吉258
TEL: 0995-42-8811/FAX: 0995-42-8812
<URL> <http://www.tofoo.jp/>
(本社) 〒191-0041 東京都日野市南平4-3-17

資本金額 6,000万円
従業員 206名
業種 業務用機械器具製造業